

2025年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年3月4日 東

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7265 URL <https://www.eiken-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮治 友博
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼総務部長 (氏名) 櫻井 英司 (TEL) 0537-86-3105
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期第1四半期の業績 (2024年11月1日~2025年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第1四半期	2,005	15.0	116	104.2	130	108.0	91	102.1
2024年10月期第1四半期	1,743	△0.2	56	330.8	62	206.0	45	42.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第1四半期	89.90	—
2024年10月期第1四半期	44.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期第1四半期	7,413	5,799	78.2
2024年10月期	7,429	5,803	78.1

(参考) 自己資本 2025年10月期第1四半期 5,799百万円 2024年10月期 5,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2025年10月期	—	—	—	—	—
2025年10月期(予想)	—	0.00	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の業績予想 (2024年11月1日~2025年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,877	8.9	194	70.2	204	67.0	142	69.5	140.32
通期	7,887	8.3	395	41.5	417	37.7	291	33.9	286.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年10月期 1 Q	1,240,000株	2024年10月期	1,240,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2025年10月期 1 Q	220,987株	2024年10月期	220,987株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年10月期 1 Q	1,019,013株	2024年10月期 1 Q	1,013,745株
---------------	------------	---------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する等、景気は緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、世界的な金融引締め等に伴う海外の景気下振れ、米国による関税政策の見直し、資源・原材料価格の高止まりに起因する購入金額の上昇及びロシア・ウクライナ情勢並びに中東地域をめぐる情勢不安の継続による地政学リスク等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

こうした状況のなかで、フィルター部門の国内におきましては、自動車用フィルター業界は、自動車メーカーの生産ライン、カーディーラーに供給するフィルターメーカー(以下、純正メーカー)とカーショップ、ガソリンスタンド及び整備工場等に供給するフィルターメーカー(以下、市販メーカー)に大きく2つに分かれます。

純正メーカーは、取引先の自動車メーカー、カーディーラー以外にも他の自動車メーカーのフィルターを品揃えして、補修用として市販メーカーの納入先にも販売しております。よって、自動車用フィルター市場は、純正メーカー、市販メーカーが入り混じって激しい競争を繰り広げており、特に価格の面では、新興国で製造された安価な商品が増加し、激しい価格競争にも晒されております。輸出におきましては、当社ブランド「VIC」を約40年間、海外の日本車向けに販売しておりますが、日本のフィルターメーカー、海外のフィルターメーカーと品質、価格等で激しい競争を展開しております。さらに、燃焼機器部門におきましては、プレス加工技術を活かし、1976年から風呂釜用バーナを製造するようになり、現在は、厨房機器メーカー、ボイラメーカー及びコインランドリーメーカー等にガスバーナ、熱交換器等を販売しております。

当社は、新規取引先の開拓並びに既存取引先への訪問活動を継続しつつ、電話、メール及びWEB会議システム等も積極的に活用することで、取引先との接点を可能な限り多くすることにより、次のような営業活動を継続してまいりました。フィルター部門において国内では、付加価値の高い大型車用フィルター、既存品と差別化した高性能オイルフィルター及びプレス部品の拡販に注力すると共に、既存取引先との取引拡大に取り組んでまいりました。輸出では、主要輸出先への新製品の提案等の営業活動を強化してまいりました。燃焼機器部門では、取引先から依頼を受けたバーナの開発、既存のバーナ部品及び熱交換器の拡販に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ2億62百万円増加し、20億5百万円(前年同四半期比15.0%増)、原材料並びに梱包資材等の購入価格の上昇等により売上原価が増加したものの、売上高の増加に伴い、生産量が増加したことによる生産効率の向上等により売上総利益率が増加したことが要因となり、営業利益は前年同四半期に比べ59百万円増加し、1億16百万円(前年同四半期比104.2%増)、営業利益が増加したことが要因となり、経常利益は前年同四半期に比べ67百万円増加し、1億30百万円(前年同四半期比108.0%増)、四半期純利益は前年同四半期に比べ46百万円増加し、91百万円(前年同四半期比102.1%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上並びに輸出売上ともに増加しました。国内売上が増加した要因は、同業者向け及び商社向けが増加したことによるものです。輸出売上が増加した要因は、アジア向けが増加したことによるものです。営業利益に関しては、売上高の増加に伴い、生産量が増加したことによる生産効率の向上等により売上総利益率が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ2億68百万円増加し、19億36百万円(前年同四半期比16.1%増)、営業利益は前年同四半期に比べ53百万円増加し、2億円(前年同四半期比36.5%増)となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、コインランドリー向けバーナの売上高が減少しました。営業損失に関しては、売上高が減少したこと及び売上高の減少に伴い生産量が減少したことにより生産効率が低下したものの、販売価格の改定による利益率の向上や、経費削減に努めたこと等が要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ6百万円減少し、68百万円(前年同四半期比9.2%減)、営業損失は970千円(前年同四半期は営業損失6,509千円)となりました。

(その他)

灰皿等の販売をしております。

売上高は前年同四半期に比べ311千円増加し、697千円(前年同四半期比80.5%増)、営業損失は棚卸資産の減少等による売上原価の増加により1,432千円(前年同四半期は営業損失1,893千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて10百万円減少し、46億60百万円(前事業年度末比0.2%減)となりました。主な要因は、受注が増加したことによる出荷対応等のため、商品及び製品が87百万円増加したものの、電子記録債権が58百万円、前渡金が13百万円、前払費用が16百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて5百万円減少し、27億52百万円(前事業年度末比0.2%減)となりました。主な要因は、投資有価証券の購入等により投資有価証券が24百万円、繰延税金資産が14百万円それぞれ増加したものの、減価償却費を計上したことにより有形固定資産が43百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて16百万円減少し、74億13百万円(前事業年度末比0.2%減)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて15百万円減少し、13億23百万円(前事業年度末比1.2%減)となりました。主な要因は、当第1四半期累計期間は賞与の支給がなかったことにより賞与引当金が70百万円増加したものの、電子記録債務が56百万円、預り金が20百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて2百万円増加し、2億89百万円(前事業年度末比1.0%増)となりました。主な要因は、リース債務が1百万円減少したものの、退職給付引当金が3百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて12百万円減少し、16億13百万円(前事業年度末比0.8%減)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて3百万円減少し、57億99百万円(前事業年度末比0.1%減)となりました。主な要因は、四半期純利益を91百万円計上したものの、配当金の支払いが1億12百万円となったことにより利益剰余金が20百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想に関する事項につきましては、2024年12月6日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,487,919	1,489,732
受取手形及び売掛金	1,162,056	1,142,207
電子記録債権	822,113	763,408
商品及び製品	763,765	851,003
仕掛品	67,293	60,513
原材料及び貯蔵品	279,411	301,026
その他	90,787	54,651
貸倒引当金	△2,013	△1,929
流動資産合計	4,671,334	4,660,612
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	910,111	896,543
機械及び装置（純額）	506,878	473,609
その他（純額）	604,094	607,330
有形固定資産合計	2,021,085	1,977,482
無形固定資産	13,274	12,096
投資その他の資産		
繰延税金資産	51,703	66,392
その他	673,259	697,493
貸倒引当金	△1,026	△1,051
投資その他の資産合計	723,936	762,835
固定資産合計	2,758,296	2,752,414
資産合計	7,429,630	7,413,027

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	453,665	466,710
電子記録債務	56,100	—
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	81,936	73,300
賞与引当金	39,306	110,212
その他	247,832	213,176
流動負債合計	1,338,841	1,323,399
固定負債		
退職給付引当金	242,052	245,915
役員退職慰労引当金	1,855	1,855
資産除去債務	10,173	10,173
その他	33,148	32,055
固定負債合計	287,229	289,999
負債合計	1,626,070	1,613,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	403,127	403,127
利益剰余金	5,216,380	5,195,899
自己株式	△498,081	△498,081
株主資本合計	5,723,226	5,702,746
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,333	96,881
評価・換算差額等合計	80,333	96,881
純資産合計	5,803,560	5,799,627
負債純資産合計	7,429,630	7,413,027

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
売上高	1,743,236	2,005,345
売上原価	1,500,233	1,690,974
売上総利益	243,003	314,370
販売費及び一般管理費	186,097	198,169
営業利益	56,905	116,201
営業外収益		
受取利息	198	284
受取配当金	2,593	4,762
投資有価証券評価益	—	1,130
受取賃貸料	3,394	3,370
その他	1,271	5,610
営業外収益合計	7,456	15,157
営業外費用		
支払利息	480	823
投資有価証券評価損	200	—
その他	1,009	155
営業外費用合計	1,689	979
経常利益	62,673	130,380
特別利益		
固定資産売却益	79	21
補助金収入	—	300
保険解約返戻金	2,376	—
特別利益合計	2,456	321
特別損失		
固定資産除却損	85	0
保険解約損	807	—
特別損失合計	893	0
税引前四半期純利益	64,236	130,701
法人税、住民税及び事業税	39,991	60,806
法人税等調整額	△21,086	△21,715
法人税等合計	18,905	39,090
四半期純利益	45,331	91,610

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
日本	848,246	75,502	923,749	386	924,136	—	924,136
海外	819,100	—	819,100	—	819,100	—	819,100
顧客との契約から生じる 収益	1,667,347	75,502	1,742,850	386	1,743,236	—	1,743,236
外部顧客への売上高	1,667,347	75,502	1,742,850	386	1,743,236	—	1,743,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,667,347	75,502	1,742,850	386	1,743,236	—	1,743,236
セグメント利益又は損失(△)	146,920	△6,509	140,411	△1,893	138,517	△81,611	56,905

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
日本	882,046	68,567	950,613	697	951,311	—	951,311
海外	1,054,034	—	1,054,034	—	1,054,034	—	1,054,034
顧客との契約から生じる 収益	1,936,080	68,567	2,004,647	697	2,005,345	—	2,005,345
外部顧客への売上高	1,936,080	68,567	2,004,647	697	2,005,345	—	2,005,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,936,080	68,567	2,004,647	697	2,005,345	—	2,005,345
セグメント利益又は損失(△)	200,499	△970	199,529	△1,432	198,097	△81,895	116,201

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	58,489千円	55,645千円